



第 1728 回例会

5 月 28 日 No.43

会長 江成 利夫

相模原中ロータリークラブ
幹事 黛 裕治

- 姉妹クラブ
龍仁ロータリークラブ
国際ロータリー第 3600 地区
- 姉妹クラブ
千曲川ロータリークラブ
国際ロータリー第 2600 地区
- 提唱インターアクトクラブ
光明学園相模原高等学校
インターアクトクラブ

卓話「日本ロータリーの創設者」

(*写真は未撮影により)

神田 達治

- ・57 才：前年に三井銀行常務を辞任。日本で最初の信託銀行・三井信託(株)を創立、社長就任。
- ・67 才：三井信託(株)辞任する。
- ・70 才：私費にて(財)緑丘小学校（現在の青山学院初等科）を創立し、初代校長に就任。
- ・71 才：貴族院議員として勅撰される。
- ・78 才：静岡県長泉町にて逝去。

○米山翁のプロフィール

- ・「新隠居論」を 46 歳の時に発表。大いに反響あり。当時は男子の平均人生は 50 年、米山翁の「将来の奉仕精神の萌芽」を垣間見る。本人はまだロータリーを知らない時。
- ・佐々木信綱（歌人）の氏評：佐々木氏がある優秀な苦学生と知り合う。師範学校終了後、更に 3 年間研鑽したいが、学費が出せない事情を米山に話す。米山は「未来ある人の為なら」と 3 年間の援助を快諾。1 回目の資金を渡す時、「米山という名前を言わず、ただ遠方から見守っている者がいると言って激励し渡して頂きたい」と依頼。→陰徳の美学
- ・「戦後のアジア民族融合」プロジェクトを立案。米山はアジア各地の留学生を自費で支援。東京 RC が発信し、1957 年に全国組織（多地区合同活動）となる。



本日は私なりに資料を集め、スライドにしてみました。約 60 枚程あり、時間的に全てを紹介するのは無理だと思いますので、米山梅吉翁に関する部分を中心にお話させていただきます。（以下、映像資料より概要のみ掲載）

○第 1 章「青雲の志を持って」

- ・江戸芝田村町（新橋 6 丁目）高取藩屋敷で誕生。
- ・梅吉が 5 才の時、父が亡くなる。その後、母方の三島市で幼時を過ごす。
- ・12 才で三島市長泉の旧家「米山家の養子」へ
- ・16 才で沼津中学校を中退し、上京。東京英和学校（青山学院の前身）に入学。
- ・20 才で米国留学、3 つのアメリカの大学で政治学・法学を習得する。
- ・30 才で「合名会社三井銀行」入社。

○第 2 章「金融スペシャリストとして活躍」

- ・31 才：三井銀行入社後、14 カ月に亘る欧米銀行業務の視察。業務近代化マニュアルが、内外で評価される。
- ・42 才：三井銀行 常務取締役就任。
- ・50 才：政府財政経済委員として渡米。
- ・51 才：朝鮮／満州／支那を視察。上海で孫文と時局について討論する。

○第 3 章「社会奉仕に人生を捧ぐ」

- ・53 才：東京 RC を創立。初代会長に就任 ➤

○日本のロータリークラブができるまで

- ・1917 年、50 歳の時に特使「政府財政経済委員」として渡米。テキサス州ダラス RC 会員の福島喜三次（三井物産・現地支店長）と出会い、初めてロータリー運動に接し、多に心を動かされ、帰国後 2 年間、「ロータリー精神と組織の研究」に努める。
- ・1920（大正 9）年 10 月 20 日、「東京 RC」が誕生する。当時、米山は 53 歳（三井銀行常務）。初代会長として選出される。
- ・その後、大阪／神戸／横浜／名古屋／京都／仙台／盛岡／旧満州の大連・奉天・ハルビン／朝鮮の京城／台湾の台北に設立される。
- ・1928 年、米山が第 70 地区ガバナーになる。

○米山が当時、日本にこそロータリーの導入が必要と考えた理由

「ロータリーは政治・宗教の外にあって、超然たるべき事を原則」とし、政治宗教に関して議論する時は、往往にして難しい問題が提起されるので、ロータリーではあらかじめ戒めることとされる。米山は、この頃から軍部の弾圧を強く感じていたと思われる。

もう 1 つは、不条理な派閥の存在への挑戦とも言われる。維新後、薩長や旧藩閥に属さない者は極めて不利だった。ある程度はやむを得ないことであったが、「人の信用を計る物差しの第一は同藩人であるかどうか」とされた。

○東京ロータリークラブ誕生

- ・1917 年、ダラスで三井物産の福島喜三次（日本人第一号会員）と出会い、ロータリーを知る。
- ・1920 年 10 月に日本で最初のロータリークラブとして「東京ロータリークラブ創立総会」を開催。会長は米山梅吉、幹事は福島喜三次。
- ・チャーターメンバーは 24 人で、当初の厳選された会員は全員が会社のトップで、実業界のエリート。多忙な人の集まりで例会出席やクラブ活動などは、活性化しなかったとされる。（例会は月 1 回）
- ・1923 年の関東大震災で世界 500 以上のロータリークラブから、莫大な災害援助金を受けたこと

ことにより、真のロータリー精神を体得した東京クラブは奉仕活動も次第に活性化した。

（例会月 1 回→毎週水曜日開催）

- ・草創期、戦前の週報は全て英文で作成。世界のクラブが読めるようにという理由。

○東京ロータリークラブ 一時解散の演説

第二次世界大戦が勃発し、ドイツ・オーストラリア・イタリアのロータリークラブが解散し、1940 年に日本のロータリークラブも相次いで RI を脱会。（以下、米山梅吉のスピーチ）
「重い足を引きずって、私は今ここに立つ。こんな辛い気持ちで皆様に語らねばならぬのは、20 年来初めてのことであり。私はただ、かかる結末になったことをお詫びしたい。

しかし我々としても時の流れに、徒に手をこまねいていたわけではない。日満ロータリークラブの創設のごときも、その表れである。しかし時代の流れはあまりに急激であった。進路は 3 つ、
①最後まで、ロータリークラブを守り通すか
②潔く解散するか
③地下にもぐって、「水曜会」としてロータリー精神を継承するか

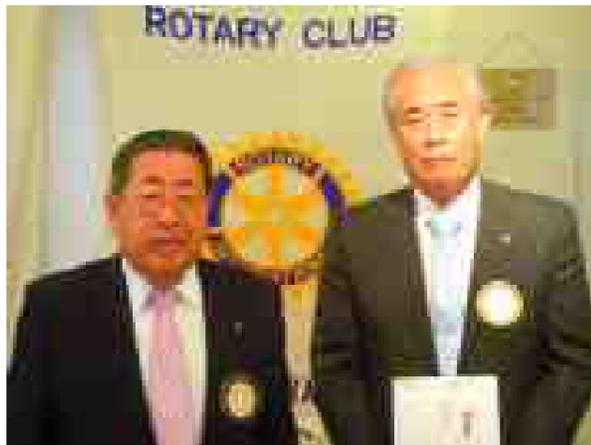
この国際組織の精神を残すべきと信ずる。「奉仕の理想／職業を通じての奉仕／世界友誼」これを失うなら、「水曜会」としての存立の意味がない。＜中略＞ 地方のクラブがバタバタと解散する以前でしたら、施す術もあっただろうが、東京 RC だけが孤立してしまった今では、もう遅い。

国家単位の会を作り、将来世界的にこれをリードするというのが賢明と信ずる。創立以来 20 年を顧みる時、感慨無量である。

ロータリークラブがこの間、いかに国家に貢献してきたか、その歴史は燦として輝いている。私の眼底には絵巻物のごとく、それらが彷彿としてくる。不行き届きを許して頂くと共に「水曜会クラブ」会合を続けられるのは、ぜひ必要と考える。皆様の会だから良い道を選ぶべく努力して下さい。

昭和 15（1940）年 9 月 11 日午後 1 時 45 分、最後のベルが鳴った。「ロータリー精神をより強く、皇国日本に生かさん為に、日本ロータリーは 21 才の若さを持って自決した」と述べました。

<老沼秀夫会員へ古希お祝い>



おめでとうございます。
これからも益々お元気で!

お祝スピーチ

今日は古希祝を有難うございます。今月の第一例会でも誕生を祝って頂きましたが、大きくなって、70才になりました。

私は8人兄弟の末弟ですが、5人は既に亡くなり、あとは兄と姉だけになりました。

ロータリーでは、70才以上の人でも元気な人がたくさんおりますので、私も頑張ります。これからも宜しくお願い致します。(概要にて掲載)

老沼 秀夫



<少年野球協会 相模原中ロータリークラブ優勝旗争奪夏季大会 開会式>

2013年6月2日(日) AM9時 相模原市「ひばり球場」にて



瀬戸会長エレクトより挨拶



始球式は見事、ストライク!



参加された相模原中RC会員

例会報告

1. 第2780地区ガバナー事務所より

①「2013年度規定審議会 採否結果の説明会」開催のお知らせ

4月20~26日にアメリカ・シカゴで開催された規定審議会の結果を、正しくクラブへお伝えしたく説明会を行います。尚、この内容は次年度から関わってきますので、各クラブ会長エレクトにお集まりをお願い致します。都合がつかない場合は必ず代理者を出して下さい。また、ご出席者には必ず事前に、地区ウェブサイトから「規定審議会立法案審議経過と結果に」に目を通して下さい。

日時: 6月10日(月) 15:00~17:00

場所: 藤沢産業センター8F 締切: 6月3日

②次年度第1回インターアクト合同会議のご案内

提唱クラブより、次年度クラブ会長、地区インターアクト委員のご出席をお願い致します。

日時: 6月8日(土) 14:00~17:00

場所: 第一相澤ビル 返信締切: 6月3日

2. 老沼秀夫会員が5月27日に古希を迎えられましたので、内規により記念品を贈呈。

例会プログラム

6月※2日(日) 少年野球・中RC優勝旗争奪杯
AM9時~開会式 「ひばり球場」

4日卓話「知的資産経営のすすめ」

担当: 田後 隆二会員

現・次年度ガバナー補佐ご挨拶

定例理事役員会(現・次年度合同)

11日卓話「相模ねぶたカーニバル」

担当: 中里 和男会員

18日クラブ協議会「今年度活動のまとめ」

担当: 会長、幹事、各委員長

<5月のお祝・入会記念日祝>



・金沢 邦光会員 2004年5月18日
・佐々木敏尚会員 2011年5月10日

<お祝ショートスピーチ

金沢邦光

2004年に入会して、9年10か月が経ちました。当時の会長は瀬戸会員のお父さんの故・西浦会員で、会員は50名位おりましたが、雰囲気はあまり良くなくていつ辞めようかと思ったり・・・私も50才半ばになりましたが、自分では若手だと思って、今後もそのつもりで活動していきます。(概要にて)



例会記録

点 鐘 12時30分

場 所 「敦煌酒楼」

司 会 横溝 志華 副SAA

斉 唱 ロータリーソング

「それでこそロータリー」

ソングリーダー 櫻内 康裕会員

出席報告

会 員	出席(出席対象22名)	事前メイク者
31名	24名	1名
欠席者	本日の出席率	修正出席率
4名	86.21%	100%

●事務局 〒252-0239 相模原市中央区中央3-12-3

相模原商工会館3F

TEL 042-758-5750 FAX 042-758-1605

●例会場 中国料理「敦煌酒楼」

〒252-0231 相模原市中央区相模原3-8-22

TEL 042-750-5188 FAX 042-756-6559

●E-mail: rotary@tbg.t-com.ne.jp

●例会日 毎週火曜日 12:30~13:30

●編 集 (親睦活動委員会)

委員長 阿部 毅

副委員長 櫻内 康裕

委 員 甲斐美利、菊地啓之、豊岡 淳、早川正彦

佐々木敏尚、田後隆二、伊倉正光、松本壽一

<http://www2.tbb.t-com.ne.jp/rotary/>